



地区ターゲット 「Club First」

2020-2021 年度

国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト

第 52 代 地区ローターアクト代表 鈴木 宏美

ご挨拶

2020-2021 年度 国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト（東京北部・沖縄）第 52 代 地区ローターアクト代表を務めさせていただきます鈴木宏美です。

はじめに、2020 年 2 月 9 日に開催されました地区ローターアクト代表選挙にて、皆さんに信任をいただき心より感謝申し上げます。

私は、東京ワセダローターアクトクラブのチャーターメンバーとして入会し、7 年目を迎えました。入会当時、ロータリークラブ・ローターアクトクラブのことは、何も分かりませんでした。しかし、クラブや地区活動を通じて数多くのかけがえのない仲間と出会い、少しずつ理解を深めてきました。ローターアクトでは、時には真剣にぶつかり合い意見が衝突することもあります。しかし、クラブ例会や地区行事を仲間と 1 つずつ手作りする中で生まれる一体感や達成感、他のボランティア団体にはない貴重な経験と機会だと考えています。本年度はこの「一体感と達成感」を共有できるような社会奉仕活動を開催していきます。精一杯駆け抜けますので、皆さま 1 年間どうぞよろしくお願い致します。

地区ターゲットに込めた想い

本年度の地区ターゲットを「Club First」と掲げました。ローターアクト活動の根幹は、自クラブの活動です。各クラブの運営の一助となるような地区運営を行っていきます。具体的には以下の 3 点です。

- ① 地区内ローターアクトクラブ 運営方法のサポート
- ② 合同例会の推奨
- ③ 2580RAC ポータル（コミュニケーションツール）の導入（詳細は別紙を御覧下さい）

本年度の地区行事

「みんなが集まるからこそ活きる奉仕活動」

ここ数年、合同例会を行うクラブが多く見受けられ、クラブ間の親睦が活性化しました。クラブ間の結束が深まった現状を踏まえて本年度は、当地区みんなが集まり力を結集するからこそ活きる奉仕活動を行います。合同奉仕活動を通して、他のロータリーファミリーと交流の輪を広げ、ローターアクトの公共イメージ向上をはかります。



本年度の地区運営で大事にしたいこと

「Club First」

各クラブに重点を置き、情報共有ができる地区にしていきます。より良いクラブ運営のため、地区内外問わず参考になる企画や手段・運営方法があれば各クラブへ情報共有します。

「Face to Face」

共に活動をするためには、まず互いを知ることです。メールやテレビ会議など有効な情報共有手段はあります。しかし対面で話をしないとニュアンスにずれが生じたり、誤解が生まれることもあります。何よりも直接会話をすることは良い親睦関係を作る近道だと考えます。立地や時間的な制限はありますが、できる限り集まり顔を合わせ協議決定していく機会を持ちたいと思います。

Club First 取組み

① 地区内ローターアクトクラブ 運営方法のサポート

他のクラブで参考になる企画や運営方法があれば、各クラブへ情報共有致します。情報共有手段として、ローターアクト NEWS を4半期に一度以上作成し、地区内ローターアクターへデータで配信致します。

② 合同例会のサポート

本年度も引き続き、地区として合同例会を推奨いたします。

③ 2580RAC ポータル（コミュニケーションツール）の導入 「ローターアクトをもっと身近に！」

各委員会概要

本年度は4つの委員会を発足致します。それぞれの委員会概要は以下となります。

「地区社会奉仕委員会」

本年度、地区親睦委員会は地区社会奉仕委員会に集約し社会奉仕活動を通じて、クラブ間そしてロータリーファミリーとの絆を深めます。

「地区年次大会実行委員会」

第52回 地区年次大会実行委員会を運営する委員会となります。

2021年5月29日（土）開催 @リーガロイヤルホテル東京



「地区広報委員会」

当地区の活動をロータリーファミリー内外にPRする委員会です。ロータリークラブに加えて、インターアクト、ROTEX（青少年交換）、米山学友、RYLA など幅広く広報活動を行います。

「地区 IT ソリューション委員会」

地区内ローターアクターがより活動しやすいようサポートするシステムを構築します。